

裁判員経験者との意見交換会（令和5年11月3日開催）

大津地方裁判所にて裁判員経験者4名と法曹3者（裁判官・検察官・弁護士）との意見交換会を実施しました。その中で、裁判員経験者からいただいたご意見・ご感想等を一部紹介します。



★裁判員に選ばれたとき

- ・実感はなかったが、精神的な負担はなく、職場も家族も前向きだった。
- ・職場の社長の理解があり、業務を調整して参加することができた。
- ・最初の案内で裁判の日程がわかっていたので、スケジュールを調整しやすかった。
- ・社内で初めての裁判員とのことで、職場は対応に困っていた。
- ・裁判員に選ばれた後、審理が始まるまであまり日がなく、仕事の引継ぎが難しかった。

★審理について

- ・初めての経験で緊張したが、裁判官が順序よく裁判を進めてくれたので不安はなかった。
- ・時系列をホワイトボードを用いて表示するなど、わかりやすかった。
- ・1時間ごとに休憩するなど、裁判員への配慮があり、スケジュール的な負担はなかった。
- ・弁護士の話し方がうまく、場面によって立ち位置を変えるなどしてわかりやすかった。
- ・検察官と弁護士の資料で理解を深めることができた。
- ・専門知識がない人でもわかるよう説明してもらえた。

★評議について

- ・見ず知らずの人と評議するのは緊張したが、裁判官が一人一人に話す機会を振ってくれたので、意見を言い逃すことはなかった。
- ・振り返りも交えながらゆっくり進んだので、審理の内容を忘れることなく評議することができた。
- ・全員でそれぞれの意見に対して話し合い、いい評議ができたと感じた。

★裁判員裁判に参加して

- ・裁判に興味はなかったが、裁判員を経験して傍聴など興味の幅が広がった。
- ・裁判の仕組みがわかり、貴重な社会勉強になった。
- ・刑事裁判なので、明るい話ではなく、重い感情を持って帰ることもあったが、裁判員を経験したからこそその視点が得られ、良い経験だった。



ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！
当日は意見交換会の様子を高校生・大学生等に見学していただきました。若年層の裁判員裁判への参加に対する不安が軽減されたのではないかと思います！
今後とも裁判員制度へのご理解とご協力をお願いします。

